

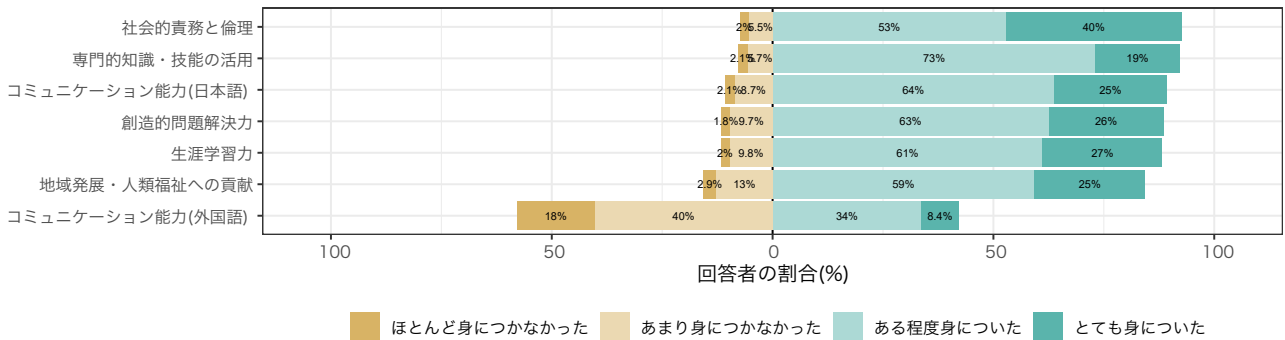
2023年3月更新 (IRセンター, 教学マネジメント室作成)
 内部質保証委員会

大分大学の学生が享受できた教育・教育成果の公表情報

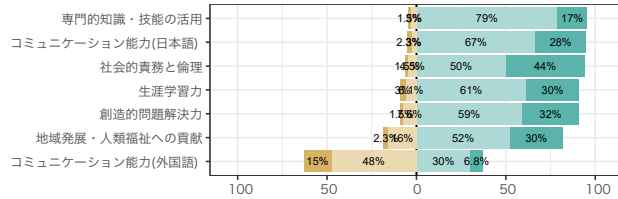
1. 卒業認定・学位授与の方針 (DP: ディプロマ・ポリシー) の資質・能力の到達実感度

DPに掲げられている資質・能力のうち、学生が最も身についたと実感しているのは「社会的責務と倫理」です。次に「専門的知識・技能の活用」が続きます。上位6つの項目は、学生の8割以上が身についたと実感していますが、「コミュニケーション能力(外国語)」については、学生の5割以上が身につけていないと感じています。本学では、学生の「コミュニケーション能力(外国語)」の向上を支援するために、総合的な英語力を強化するための国際フロンティア教育プログラムや、学士課程の全学生を対象に英語外部試験を継続的に実施しています。

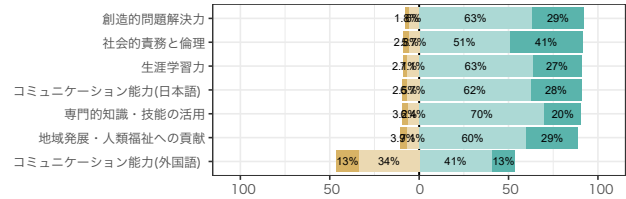
全学学士課程 (n=715)



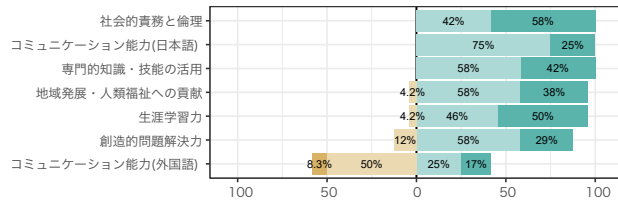
教育 (n=132)



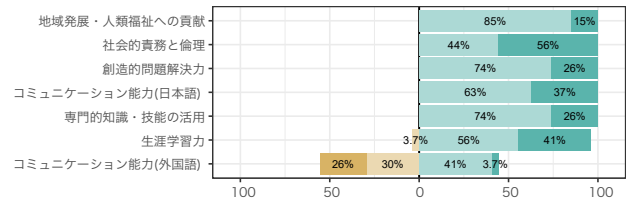
経済学 (n=282)



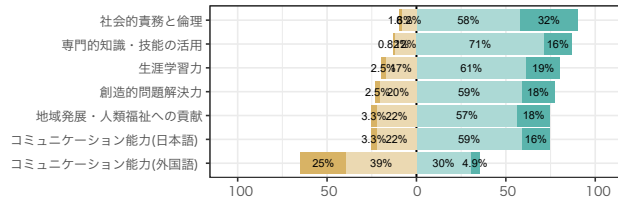
医学 (n=24)



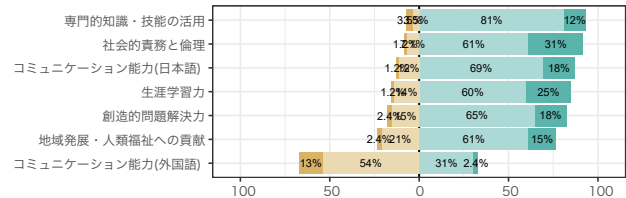
看護学 (n=27)



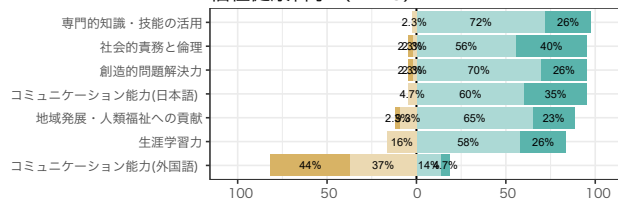
工学 (n=122)



理工学 (n=85)

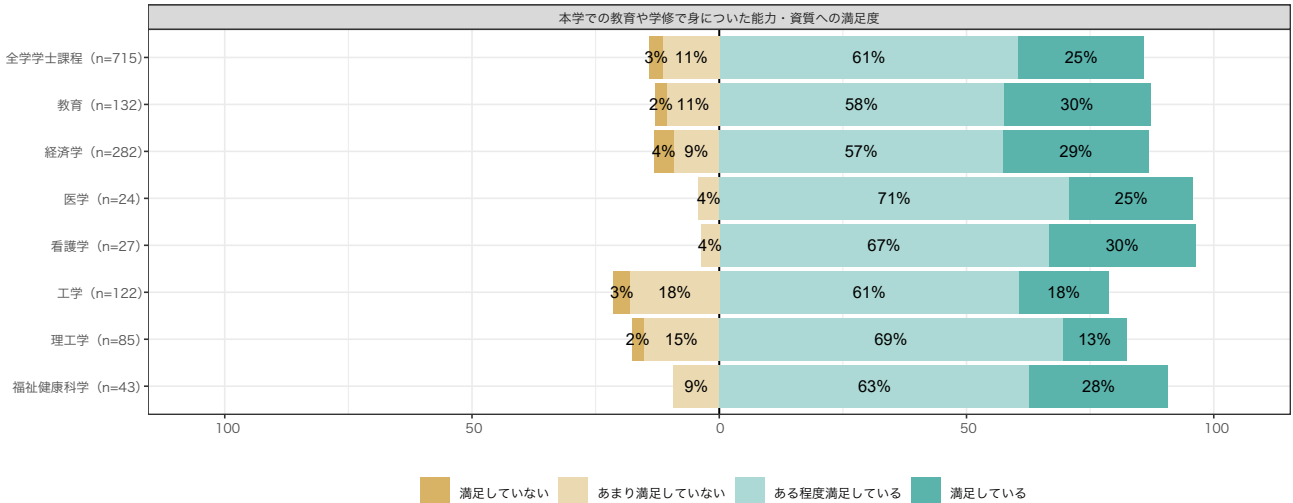


福祉健康科学 (n=43)



2. 大学の教育・学修への満足度

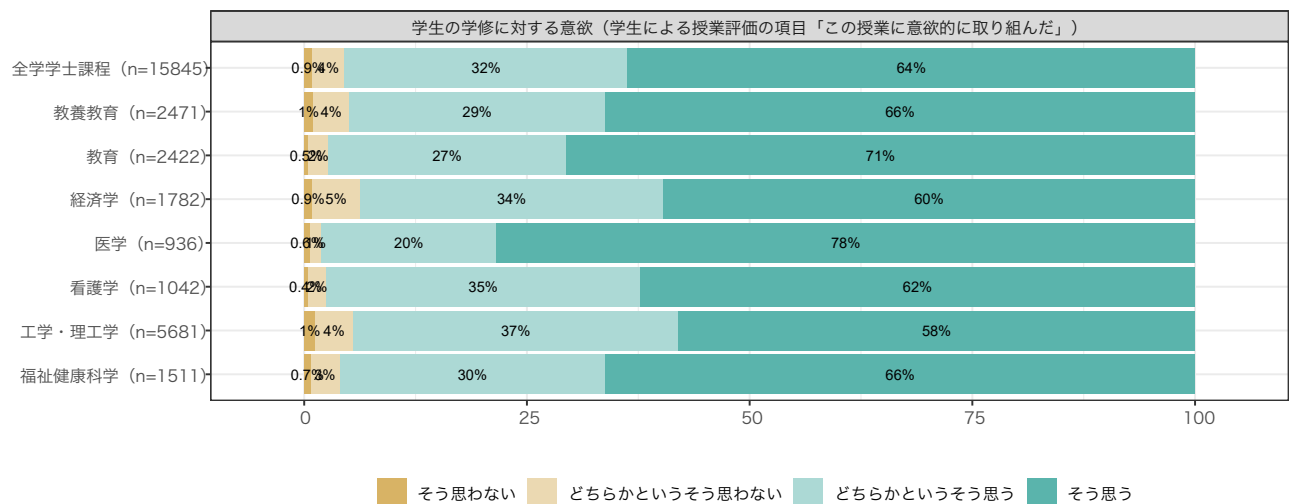
本学での教育や学修で身についた能力・資質について、学生の86%が肯定的（「満足している」、「ある程度満足している」）に回答しています。本学では、2020年度に設置した教育マネジメント機構を中心に、学生の満足度を向上させるための内部質保証の向上のための取り組みを行っています。



2021年度卒業時「教育・学修成果の検証に関するアンケート」

3. 学生の学修に対する意欲

授業での学修の取り組みについて、95%の学生が肯定的（「この授業に意欲的に取り組んだ」の問いに「そう思う」、「どちらかというと思う」）に回答しています。特にほとんどの学生が目標とする免許や資格等に関係する科目が多いと考えられる学位プログラムでは、授業への学修に対する意欲の高い学生が多い傾向がみられます。

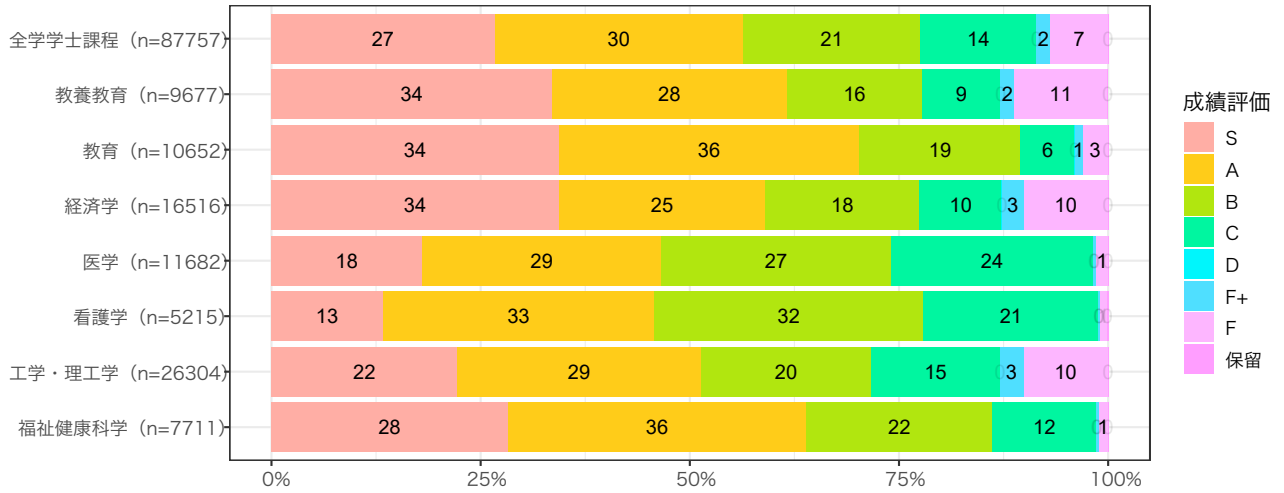


2021年度学生による授業評価「授業改善のためのアンケート調査」

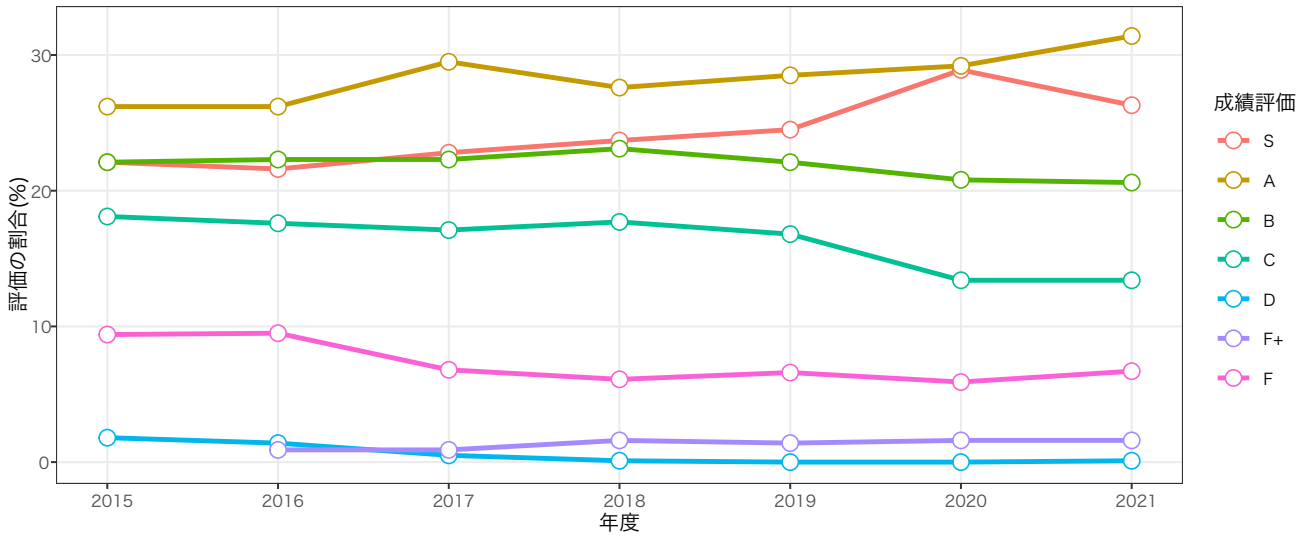
4. 成績分布

本学では、2014 年度からすべての開講科目の成績分布の一覧を算出し、成績評価の適切性の検証を行っています。全学での成績では A 評価が最も多く、続いて S が多くなっています。全科目の GP (Grade Point) ※ の平均値は 2.5 です。

※ S (90 点以上) =4 ポイント, A (80 点以上 90 点未満) =3 ポイント, B (70 点以上 80 点未満) =2 ポイント, C (60 点以上 70 点未満) =1 ポイント



全学学士課程

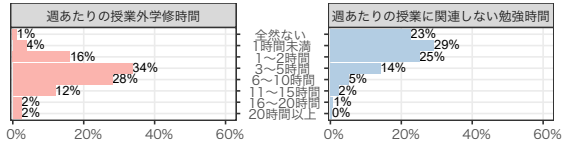


2016 年度～2021 年度「開講科目の成績評価分布について」

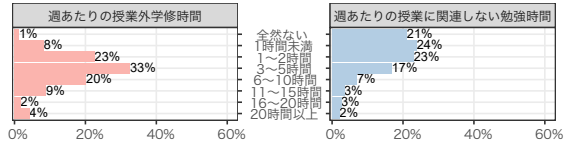
5. 授業外学修の時間

課題への取組や、準備学修、復習等に費やされる「授業と関連のある授業外学修」は、一週間あたり3～5時間という学生が最も多くなっています。全学学士課程の「受講科目の授業とは関連のない勉強」については、3年生が1年生と比較して費やす時間が長い学生が多くなっています。本学では、2018年度からシラバス様式に授業外学修の内容や時間の目安に関する項目を追加し、授業の設計段階から学生の授業外学修を促すように工夫しています。

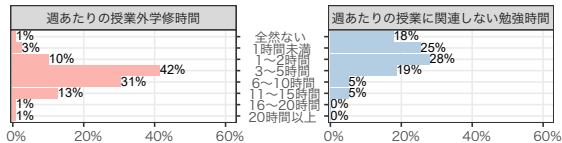
全学学士課程：1年(n=601)



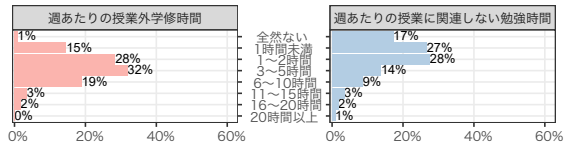
全学学士課程：3年(n=469)



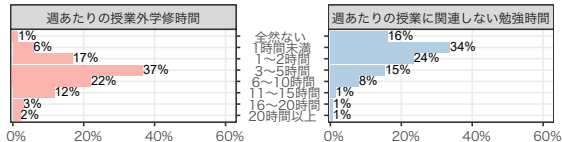
教育：1年(n=118)



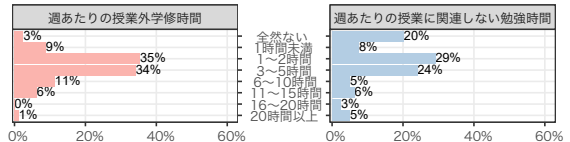
教育：3年(n=116)



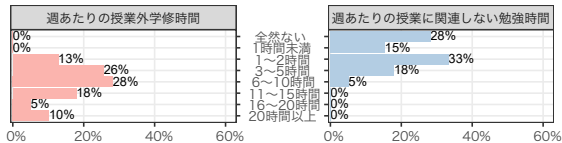
経済学：1年(n=136)



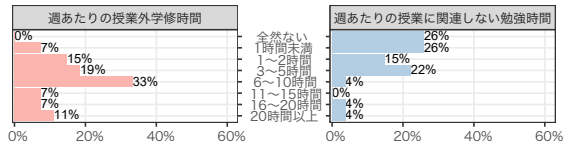
経済学：3年(n=79)



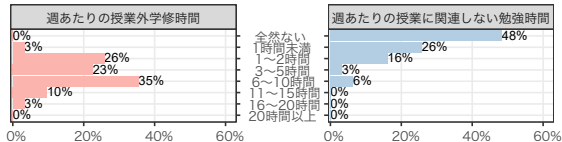
医学：1年(n=39)



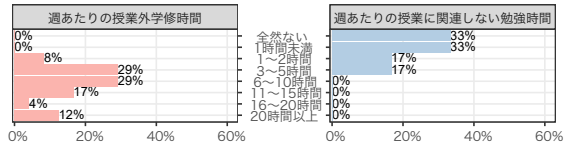
医学：3年(n=27)



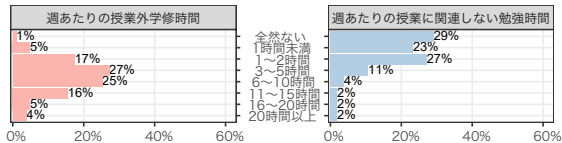
看護学：1年(n=31)



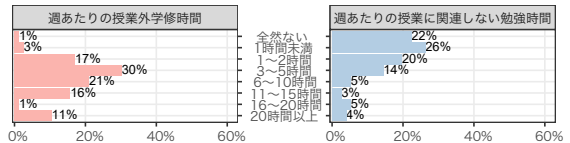
看護学：3年(n=24)



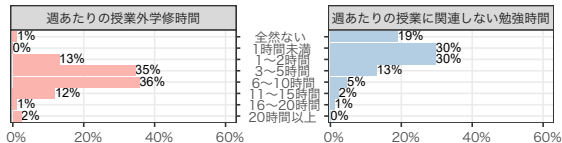
工学：1年(n=103)



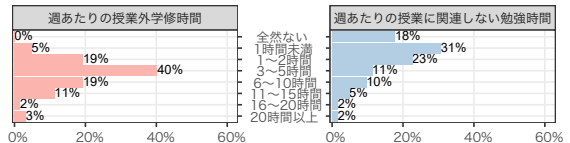
工学：3年(n=76)



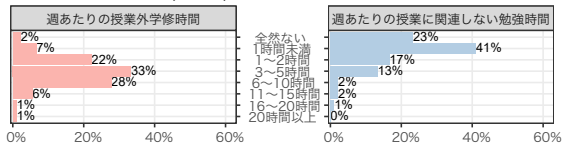
理工学：1年(n=84)



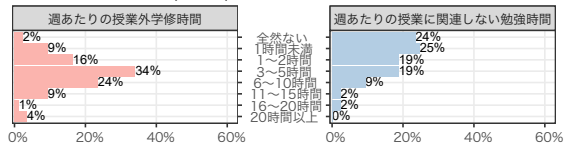
理工学：3年(n=62)



福祉健康科学：1年(n=90)



福祉健康科学：3年(n=85)

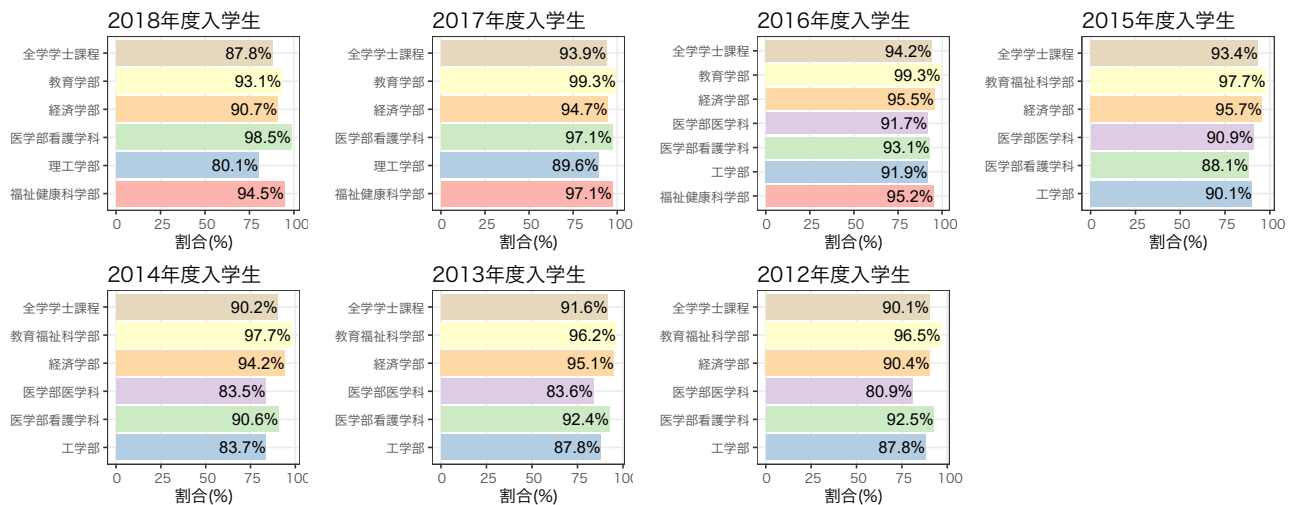


6. 標準修業年限内卒業率と退学率

全学学士課程の退学率は2%台で推移し改善傾向がみられますが、新型コロナ禍で標準修業年限を迎えた学生の卒業率は低下傾向が認められます。本学では、指導教員や授業担当教員が学生の質問や相談に応じるオフィスアワー制度に加え、学生のあらゆる相談にワンストップ窓口で応じる「キャンパスライフなんでも相談室」、精神科医・臨床心理士・キャンパスソーシャルワーカー(社会福祉士)が学生や学生の家族の相談に応じる相談室や学修面での支援を行う学習サポートデスク等を設置し、学生の学修や学生生活を支援しています。

6.1 標準修業年限内卒業率

※ 入学者のうち、入学から4年(医学部医学科は6年)で卒業した学生の割合。6年(制)の医学部医学科は、2017年度入学生及び2018年度入学生の卒業率は未掲載。



6.2 退学率

※ 標準修業年限内に退学(除籍含む)した学生の割合。

